



組み立ててみる？

あなたの野鳥公園

第5回 野鳥公園ラウンジカフェ

「レゴ®シリアスプレイを活用した野鳥公園コンセプトづくり」

日時 2013年6月16日（日） 12:30～18:00 開場 12:00（定員40名：先着順）

場所 天神クリスタルビル Aホール：福岡市中央区天神4-6-7

プログラム これまでの野鳥公園ラウンジカフェからも、コンセプトとなるキーワードが既に誕生していますが、今回はブロックを活用してさらなる斬新なアイデアを共有し、積み上げていきます。講師に株式会社ロバート・ラスムセン・アンド・アソシエイツ代表取締役社長の蓮沼氏をお招きし、参加者どうしが自ら創った三次元モデルを通じてのグループ討議、価値観の共有を図り、野鳥公園コンセプトのヒントを得るとともに、各自の行動のコミットメントを得る場にしていきます。

●参加費：無料

●主催：福岡市環境局

申し込み締め切りは6月13日（木）です

◆参加を希望される方は、電話、FAX、メールのいずれかで、氏名、住所、連絡先（電話番号もしくはメールアドレス）を添えてお申し込みください。グループやご家族で参加される方は、全員の人数をお伝えください。

講師の紹介・・・蓮沼 孝 氏（株）ロバート・ラスムセン・アンド・アソシエイツ 代表取締役社長

レゴ®シリアスプレイ公認ファシリテーターであり、NP0 法人九州・アジア経営塾のプログラム・ディレクターを歴任。国内の通信システム会社、リテール事業会社、商社、シンクタンク、外資系エンジニアリング会社等へレゴ®シリアスプレイを活用した課題解決プログラムを提供、また、大学、大学院等での公開セミナーを行い、視点を広げ、対話能力の向上に寄与している。著書：「成功するキャリアデザイン」（日本経済新聞、堀義人らと共著）



お申し込み先／お問い合わせ先 福岡市役所 環境局 環境調整課 野鳥公園整備担当 【担当：名川】

TEL 092-733-5389

FAX 092-733-5592

Mail nagawa.m02@city.fukuoka.lg.jp

5月 第4回ラウンジカフェ

第4、5回内容を踏まえ、来春修正案の検討（予定）

8月 第6回ラウンジカフェ

基本計画案の提示

10月 第7回ラウンジカフェ

オープンセッション

11月 第8回ラウンジカフェ

基本計画の公表

8月 第9回ラウンジカフェ

アイランドシティで野鳥公園づくりが始まりました！

発行：福岡市役所環境局環境調整課

野鳥公園ラウンジカフェニュース



2013年6月

野鳥公園ラウンジカフェとは

多くの渡り鳥が飛来するなど豊かな自然環境を有する博多湾、その東に位置するアイランドシティに、約12haの野鳥公園の整備を予定しています。野鳥公園ラウンジカフェは、住民や学生など市民をはじめ、専門家、事業者、NPO、行政など多様な主体が野鳥公園の整備や活用、運営に向けて語り合う場です。野鳥公園が整備されるまで継続して実施する予定です。



「予定地視察」報告 2013年5月25日（土）10:00～11:30

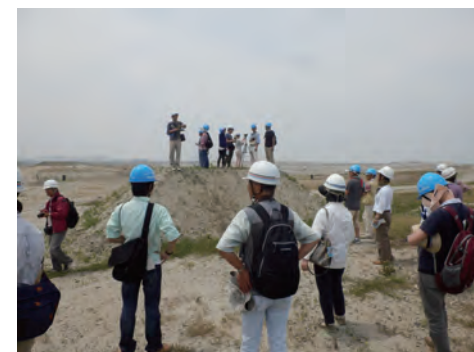
公園予定地のスケールや、周囲の環境との関係性を感じてもらうために、ラウンジカフェの開催前に予定地を約一時間視察しました。野鳥公園の概要を説明した後に、公園予定地のスケールや周囲との環境の関係性を感じてもらうために、まずは現場に立っていただきました。



この真新しい道路の先に、野鳥公園の計画予定地が広がっています。



護岸上の管理用道路（幅3m）。「ちょっと味気ない」という声も。



載荷盛土の最長部からは、博多湾が一望できました。



管理用道路からみた和白干潟方面の様子。上空を飛び交う野鳥も見られました。



野鳥が運んだ種などが育ち、豊かな樹林が形成されていました。



野鳥公園の範囲は、写真のような垂直護岸になっていました。



波が運んだ種子が芽吹いていました。味はほんのり潮味です。




それぞれの野鳥公園をイメージしています。

第4回野鳥公園ラウンジカフェは、野鳥公園の予定地視察を行ったあと、アイランドシティ中央公園内のぐりんぐりにて始まりました。

計画のための条件整理
「野鳥公園に求められるもの」
です！



本日のラウンジカフェに向けて、専門家の方々からも一言ずつコメントをいただきました！



15:00 終了

[illegible]

前回は「大きな干潟をつくらう」という声が多く出ましたが、予定地視察を終えて、本当に干潟が必要なのか、ここに干潟をつくる意味はなんだろう?という議論に展開してきました。実際に図面に描きこむことで、周辺環境との関係性や管理施設の形状なども話しやすくなりました。



ワールドカフェ方式で意見交換を行い、たくさんのコメントがカフェテーブルの上に並びました。今回は、その中でもみなさんが特に大事なものと考えたもの（イエローマーク）をご紹介します。

- ・再生する力
- ・ベースは本物の自然
- ・自然に根付いていく
- ・自然の力すごい
- ・鳥が運んできた種から育てた林（ネムノキ、アキグミ、アカメガシワ、クスノキ）⇒これを保存すればいい。
- ・水のデータがほしい⇒専門家が調べて教えてほしい
- ・完成図ではなく自然に任せてみてはどうか⇒安定するか？
- ・生態系として考える⇒命の数を増やす；福岡市の命ゆりかご
- ・生物多様性

- ・人と鳥の共生をどうはかるか
- ・LC にどんな鳥が来ていたのか?
- ・鳥のくる環境をつくる
 - ⇒ ひとがつかりすぎない
 - ・鳥の環境を考えると、人とは両立しない
 - 観察センターのようなもので学び
- ・ターゲットの鳥を考えないといけない（クロツラ、シギ、チドリ、カモ）
- ・広さは「12ha」 鳥が怖がらない距離（非干渉距離）をとれるか。
 - 16ha は欲しい。 ⇒ バリアの工夫が必要
- ・冬は北風強そう（鳥は風・雨に弱い）⇒ 高木で防ぐ

- ・引き算も大切だけど夢も残したい。
- ・ミニディズニーランド、シー
- ・一生遊べる
- ・公園そのものを育てる
- ・成長する公園→写真で記録

- ・ほしいものが多いすぎる、何を大事にするか
- ・エコパークゾーン全体でも考えたら足りないものもある。ただし、今他にあるものがなくなることもあるものではない。エコパークゾーン全体の将来像を考える必要がある。
- ・足りないものを減らして付加価値のある公園になる？
- ・エコパークゾーンを考える。その中で野鳥公園の役割を。
- ・12haを核とする一帯の環境
- ・クロツラヘラサギと人との距離を考えよう。全体の中の役割分担の議論が必要。
- ・博多湾の中で考える
- ・箱庭的に詰め込んで各ゾーンを活かせない
- ・環境保護拠点